



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
3月16日
発行

第22回

「新型コロナウイルスとビッグ4」

～ どうなる米国の大統領選 ～

初めに

ここ数年、世界に大きな影響を与えてきたリーダーとしては、米国のトランプ大統領、日本の安倍晋三首相、中国の習近平国家主席、ロシアのプーチン大統領の4人が挙げられますが、自分はこの4人を「ビッグ4」と呼んでいます。新型コロナウイルス(以下新型コロナ)の問題は、この4人の今後にも大きな影響を与えると予想されますが、今回はそうした影響について考えます。

大統領選はどうなる

もっとも影響が大きいと思われるのがトランプ氏です。当初は東アジアが舞台だった為、余裕で高みの見物といった雰囲気でした。しかし米国にも本格的に飛び火した為、対応に苦慮しています。また注目されるのは大統領選への影響ですが、現在米国では感染者や死者の増加が続いていることを考えると、予定通り選挙を実施できるのか、集会は実施できるのかなどの問題が浮上する恐れもあります。州によっては災害時の対応を定めているところもありますが、全国的なものはないようです。こうした点も含めて、新型コロナが大統領選に与える影響が注目されます。

出遅れを取り返した安倍氏

問題発生当初は習氏の訪日もあったことから対応が遅れて非難を浴びた安倍氏ですが、その後は序盤の遅れを取り戻し、打つべき手を打っていると思います。いろいろな問題で最近批判が多かった安倍氏ですが、それを幾分か取り返したと言えそうです。

ここからが正念場の習氏

当初は情報公開の遅れなどから被害が広がり批判を受けた習氏ですが、最近では中国国内での新型コロナは峠を越えた模様であり、一服というところではないかと思えます。しかし、この問題により中国経済が受けた傷は大きく、今後企業の破綻が増加する可能性が有ります。また、世界的にはサプライチェーンにおける中国への依存度を下げる動きが出てくると考えられます。こうした長期的な問題に対応できるかどうかは習氏の課題と言えるでしょう。

石油依存経済からの脱却がプーチン氏の課題

プーチン氏は憲法改正など国内での基盤固めを急いでいます。強力なライバルが不在なこともあり、プーチン氏の権力が国内で脅かされる可能性は低いと見ています。プーチン氏の場合、課題は石油依存経済からの脱却です。足元では新型コロナの影響による将来の景気悪化懸念から原油価格は下落しています。環境問題の影響なども考えると、今後も原油価格が上昇しにくい状況が続くと思われます。石油依存経済からの脱却がプーチン氏の課題でしょう。

このように、新型コロナは「ビッグ4」それぞれに影響を与えることになると見ています。特に米大統領選への影響には注目でしょう。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。